



平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年2月3日

上場会社名 東洋埠頭株式会社

上場取引所 東

コード番号 9351 URL <http://www.toyofuto.co.jp/>

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 三浦等

問合せ先責任者 (役職名) 経理部審査課長 (氏名) 佐古一彦

TEL 03-5560-2702

四半期報告書提出予定日 平成26年2月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	24,803	△3.2	893	△33.2	911	△31.2	486	△31.1
25年3月期第3四半期	25,621	△0.6	1,336	12.5	1,324	13.9	705	△15.5

(注) 包括利益 26年3月期第3四半期 1,078百万円 (9.1%) 25年3月期第3四半期 988百万円 (156.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	6.31	—
25年3月期第3四半期	9.16	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第3四半期	41,517	19,224	46.2	248.77
25年3月期	40,210	18,533	46.0	239.93

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 19,171百万円 25年3月期 18,490百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	2.50	—	2.50	5.00
26年3月期	—	2.50	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	2.50	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	33,100	△1.1	1,340	△14.4	1,330	△11.9	700	△12.5	9.08

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

26年3月期3Q	77,400,000 株	25年3月期	77,400,000 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

26年3月期3Q	336,136 株	25年3月期	330,509 株
----------	-----------	--------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期3Q	77,067,124 株	25年3月期3Q	77,073,045 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信【添付資料】P.4「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積もりの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
第3四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	8
第3四半期連結累計期間	8
(3) 継続企業の前提に関する注記	9
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
(5) セグメント情報等	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(平成25年4月～平成25年12月)における日本経済は、7～9月に一時的に減速したものの、順調な回復が続いています。また、今後も設備投資の回復、円安効果顕在化による輸出押し上げ、消費税増税前の駆け込み需要が見込まれることから、回復基調が続くと予想されています。

一方、当埠頭・倉庫業界においては、引続き国内の荷動きは回復してきていますが、それが業界全体の動きに至るにはまだ時間がかかる状況です。

当第3四半期連結累計期間における当社グループの業績は、円安の影響による輸入果物の取扱い減少を初めとした倉庫貨物の取扱量減少に加えて、ばら積み貨物の取扱量も減少したことにより、グループ全体では、営業収入、営業利益、経常利益、純利益とも前年同期実績を下回りました。

当期の営業収入は248億3百万円(前年同期比8億1千8百万円、3.2%の減収)、営業利益は8億9千3百万円(前年同期比4億4千3百万円、33.2%の減益)、経常利益は9億1千1百万円(前年同期比4億1千2百万円、31.2%の減益)となりました。四半期純利益は、4億8千6百万円(前年同期比2億1千9百万円、31.1%の減益)となりました。

セグメントの概況は次のとおりであります。

○ 国内総合物流事業

《倉庫業》

倉庫業における入出庫数量は、253万トン(前年同期265万トン)、平均保管残高は、24万トン(前年同期27万トン)でありました。

一般貨物では、米、木材の取扱いは増加したものの、合成樹脂や紙製品などが大きく減少したため、全体で前年同期より減少しました。

輸入青果物は、キウイは増加しましたが、主力のバナナを始めとして、野菜、トロピカルフルーツも減少したため、前年同期を下回る取扱数量となりました。

冷蔵倉庫貨物は、農産物は増加しましたが、冷凍水産物、畜産物ともに減少し、前年同期を下回る取扱いとなりました。

倉庫業の営業収入は、77億円となり、前年同期比2.2%の減収となりました。

《港湾運送業》

本船揚げによる、ばら積み貨物の埠頭取扱量は、380万トン(前年同期405万トン)でありました。

穀物類は、鹿島地区での取扱いは大きく増加しましたが、川崎・志布志両地区での取扱いが減少したため、全体では前年同期を下回る取扱いとなりました。石炭類は、豊洲地区での取扱いは増加しましたが、川崎地区での取扱いが大きく減少したため前年同期を下回りました。その他のばら積み貨物は、ガラス原料や残土の取扱いが大きく増加するなど、全般的に取扱いが増加しました。

ばら積み貨物以外の本船揚げ貨物の取扱いは、輸入青果物、紙製品ともに前年同期を下回りました。

コンテナ取扱数量は、常陸那珂地区の取扱いが減少しましたが、東扇島地区の取扱いが増加し、前年同期を上回る取扱いとなりました。

港湾運送業の営業収入は、55億6千6百万円となり、前年同期比2.7%の減収となりました。

《自動車運送業》

自動車運送業務は、東扇島地区の取扱いは大きく減少しましたが、川崎地区、鹿島地区等の取扱いが増加し、営業収入は、44億8千4百万円となり、前年同期比1.0%の増収となりました。

《その他の業務》

その他の業務では、物流関連施設の賃貸業務及び工場構内作業が、前年同期の実績を下回りました。

その他の業務の営業収入は、50億7千3百万円となり、前年同期比5.6%の減収となりました。

以上の結果、国内総合物流事業全体の営業収入は、228億2千5百万円となり、前年同期比2.5%の減収、営業利益は8億4千4百万円となり、前年同期比32.8%の減益となりました。

○ 国際物流事業

当セグメントは、連結子会社である株式会社東洋トランスとロシアの現地法人であるOOO東洋トランス、OOO TB東洋トランスの3社で構成されています。

ロシア経済は、欧州経済の低迷による天然資源輸出の減少や固定資産投資の減少により、内・外需ともに厳しい状況にあり、減速が続いています。

これに伴い当社グループのロシア現地法人においても取扱が減少し、前年同期実績を下回りました。

国際物流事業における営業収入は、20億5千1百万円となり、前年同期比8.9%の減収、営業利益は4千1百万円となり、前年同期比42.7%の減益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

全般の概況

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ13億6百万円増加し415億1千7百万円となりました。現金及び預金等が減少したことにより流動資産は2億2千3百万円減少しましたが、有形固定資産の取得や、株価の上昇等により固定資産が15億2千9百万円増加したことによるものです。純資産は、その他有価証券評価差額金が5億7千5百万円増加したことなどで前連結会計年度末に比べ6億9千万円増加し192億2千4百万円となりました。その結果自己資本比率は46.2%で前連結会計年度末比0.2ポイント上昇しました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、最近の業績動向等を踏まえ、平成25年5月15日に公表の通期の業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)を修正いたしました。

詳細につきましては、本日(平成26年2月3日)別途開示しております「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積り変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,893	1,745
受取手形及び営業未収入金	4,002	3,911
原材料及び貯蔵品	144	138
前払費用	155	222
繰延税金資産	273	149
その他	488	568
貸倒引当金	△4	△5
流動資産合計	6,952	6,729
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	52,107	54,042
減価償却累計額	△37,006	△37,802
建物及び構築物(純額)	15,101	16,240
機械及び装置	19,074	19,113
減価償却累計額	△16,689	△16,997
機械及び装置(純額)	2,385	2,116
船舶及び車両運搬具	1,103	1,129
減価償却累計額	△996	△1,020
船舶及び車両運搬具(純額)	106	109
工具、器具及び備品	985	990
減価償却累計額	△895	△906
工具、器具及び備品(純額)	90	84
土地	8,359	8,360
リース資産	173	154
減価償却累計額	△114	△109
リース資産(純額)	59	45
建設仮勘定	13	13
有形固定資産合計	26,115	26,969
無形固定資産		
リース資産	31	22
その他	161	154
無形固定資産合計	193	176
投資その他の資産		
投資有価証券	4,956	5,825
長期貸付金	34	32
繰延税金資産	279	143
その他	1,757	1,707
貸倒引当金	△79	△66
投資その他の資産合計	6,949	7,642
固定資産合計	33,258	34,788
資産合計	40,210	41,517

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
負債の部		
流動負債		
営業未払金	2,871	2,833
短期借入金	6,313	6,147
リース債務	45	33
未払法人税等	433	78
未払金	749	694
設備関係支払手形	111	1,949
その他	1,013	927
流動負債合計	11,537	12,664
固定負債		
長期借入金	8,297	7,547
リース債務	43	30
繰延税金負債	2	143
退職給付引当金	1,071	1,140
役員退職慰労引当金	67	60
資産除去債務	550	560
その他	108	146
固定負債合計	10,140	9,629
負債合計	21,677	22,293
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,260	8,260
資本剰余金	5,182	5,182
利益剰余金	4,529	4,629
自己株式	△53	△54
株主資本合計	17,918	18,017
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	536	1,112
為替換算調整勘定	35	41
その他の包括利益累計額合計	572	1,153
少数株主持分	42	53
純資産合計	18,533	19,224
負債純資産合計	40,210	41,517

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第 3 四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第 3 四半期連結累計期間 (自 平成24年 4 月 1 日 至 平成24年12月31日)	当第 3 四半期連結累計期間 (自 平成25年 4 月 1 日 至 平成25年12月31日)
営業収入	25,621	24,803
営業原価	23,047	22,630
営業総利益	2,574	2,173
販売費及び一般管理費	1,237	1,279
営業利益	1,336	893
営業外収益		
受取利息	2	4
受取配当金	90	93
受取地代家賃	61	62
その他	90	87
営業外収益合計	245	248
営業外費用		
支払利息	217	184
持分法による投資損失	30	34
その他	9	10
営業外費用合計	257	229
経常利益	1,324	911
特別利益		
固定資産売却益	83	7
特別利益合計	83	7
特別損失		
固定資産除却損	51	27
投資有価証券評価損	159	—
特別損失合計	210	27
税金等調整前四半期純利益	1,198	891
法人税、住民税及び事業税	367	308
法人税等調整額	122	86
法人税等合計	489	394
少数株主損益調整前四半期純利益	708	496
少数株主利益	2	10
四半期純利益	705	486

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	708	496
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	284	573
為替換算調整勘定	△3	△2
持分法適用会社に対する持分相当額	△1	9
その他の包括利益合計	280	581
四半期包括利益	988	1,078
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	985	1,067
少数株主に係る四半期包括利益	2	10

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	国内総合物 流事業	国際物流 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	23,371	2,250	25,621	—	25,621
セグメント間の内部売 上高又は振替高	35	1	37	△37	—
計	23,407	2,252	25,659	△37	25,621
セグメント利益	1,256	73	1,329	7	1,336

- (注) 1. 調整額は、セグメント間取引消去であります。
2. セグメント利益は、連結財務諸表の営業利益と調整を行なっております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年12月31日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	国内総合物 流事業	国際物流 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	22,754	2,048	24,803	—	24,803
セグメント間の内部売 上高又は振替高	70	2	73	△73	—
計	22,825	2,051	24,876	△73	24,803
セグメント利益	844	41	886	7	893

- (注) 1. 調整額は、セグメント間取引消去であります。
2. セグメント利益は、連結財務諸表の営業利益と調整を行なっております。